

2020年(令和2年)10月8日(木曜日)

三島駅再開発

# 「地下水影響地元に説明は」

## 知事、会見で疑問呈す

三島市が進めるJR三島駅南口東街区の再開発事業を巡り、地元のNPO法人などから地下水保全への影響を懸念する声が出ている問題で、川勝平太知事は七日、会見で「地下水脈にどんな影響があるか。地元でちゃんと説明されているか疑問を持っている」と述べた。

(高橋貴仁、渡辺陽太郎)

川勝知事は、県のリニア「関わる会議には専門家が加中央新幹線関連の水問題に」わり、会議内容を公開して

「(三島駅の)玄関口に高層マンションがそぐわしいか、はなはだ疑問」とした。

市民が判断できるようにしている」と説明したうえで、「水の都をつたっている三島市もぜひやってほしい。科学的知見を得るには専門家が入って議論するのが一番」「相談があれば三島のために働く学者を紹介したい」と話した。

また事業計画自体にも

知事の発言に対し三島市の飯田宏昭計画まちづくり部長は取材に「説明会や広報、ホームページなどで市

民への周知に努めてきた。今後同じ姿勢で取り組む」と答えた。地下水への影響も「さまざまデータを集めている。都市計画決定後の基本設計や実施設計に生かし、影響を抑える努力をする」と話した。